



Cisco Unity 3.1 システム要件およびサポートされるハードウェアとソフトウェア

Revised July 16, 2004

このドキュメントでは、Cisco Unity (TM) バージョン 3.1 システムをインストールするにあたっての、要件、サポートされるハードウェアとソフトウェア、およびその他の必要な情報を示します。このドキュメントは、「[パート 1: Cisco Unity 3.1 システム要件](#)」と「[パート 2: Cisco Unity 3.1 でサポートされるハードウェアとソフトウェア](#)」の 2 つのパートからなります。

Cisco Unity Bridge の要件およびサポートされるハードウェアとソフトウェアについては、http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/bridge/sysreq/index.htm にある「*Cisco Unity Bridge System Requirements, and Supported Hardware and Software*」を参照してください。



(注) AMIS および Cisco Unity Bridge は、日本ではサポートの対象外です。

パート 1: Cisco Unity 3.1 システム要件

- [ハードウェア要件 \(P.2\)](#)
- [ソフトウェア要件 \(P.3\)](#)
- [Cisco Unity コンフィギュレーションに関する Windows 2000、Exchange、およびネットワークの要件 \(P.6\)](#)
- [Exchange クラスタリングの使用要件 \(P.8\)](#)
- [Exchange 2000 と Exchange 5.5 の同時使用要件 \(P.8\)](#)
- [Cisco Unity フェールオーバー要件 \(P.9\)](#)
- [Cisco Unity バージョン 2.x から 3.1 へのアップグレード要件 \(P.10\)](#)
- [セキュリティ上の推奨事項 \(P.10\)](#)
- [Cisco Unity のコンフィギュレーション \(P.11\)](#)
- [パート 2: Cisco Unity 3.1 でサポートされるハードウェアとソフトウェア \(P.12\)](#)

ハードウェア要件

ハードウェア要件—Cisco Unity サーバ

- 必要に応じて、Cisco TAC が Symantec pcAnywhere、Microsoft Windows Terminal Services、またはその両方を使用して Cisco Unity サーバにリモート アクセスできるようにするためのモデム。
- 該当する統合、ボイス ポート数、およびその他のオプションを使用可能にする Cisco Unity システム キー。
- Cisco Unity の仕様を満たすサーバ。Cisco.com (http://www.cisco.com/warp/public/cc/pd/unco/un/prodlit/ucutp_st.htm) にある「Cisco Unity Supported Platforms List」を参照してください。



注意

Cisco TAC では、「Cisco Unity Supported Platforms List」に記載されていないプラットフォームの Cisco Unity に関して、インストール、カスタマイズ、およびトラブルシューティングのサポートを一切行いません。

- Cisco Unity での使用が認められているボイス カード (Cisco Unity を Cisco CallManager と統合する場合には、ボイス カードは必要ありません)。P.13 の「サポートされているボイス カード」および P.14 の「サポートされている回線交換電話システム統合」を参照してください。

以前のバージョンの Cisco Unity でサポートされていた一部のボイス カードは、サポートされません。Cisco Unity バージョン 2.x からバージョン 3.1 にアップグレードするときに、サポートされていないボイス カードが既存のサーバに存在する場合は、バージョン 3.1 にアップグレードするために、これらのカードを交換する必要があります。

アメリカ合衆国以外で Cisco Unity システムをインストールするときに、アナロググループを使用して中央局に直接接続する場合は、タックス インパルス信号をフィルタリングするため、Intel ダイアロジック ボイス カードにインラインの電話会社フィルタのインストールが必要になることもあります。詳細については、ボイス カードに付属する Intel ダイアロジックのドキュメント、および法規制に関する注意書きを参照してください。

- ボイス カードを電話システムに接続するために必要なケーブル、ライン スプリッタ、およびアダプタ。回線交換電話システムの統合タイプ別に必要なケーブルおよびその他のコンポーネントについては、P.14 の「サポートされている回線交換電話システム統合」を参照してください。

H.100 コネクタのカードをインストールする場合は、コネクタの数が少なくともカードの数と同数以上で余りが 5 つ以内になる H.100 ケーブルを使用して、カードを接続する必要があります (すべてのカードを 1 本のケーブルで接続する必要があるため)。

ハードウェア要件—Cisco Unity Bridge サーバ

Cisco Unity Bridge サーバのハードウェア要件については、

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/bridge/sysreq/index.htm にある

「Cisco Unity Bridge System Requirements, and Supported Hardware and Software」を参照してください。

ソフトウェア要件

ソフトウェア要件 —Cisco Unity サーバ

Cisco Unity ベースライン システムには次の必須ソフトウェアが付属しますが、Cisco Unity コンポーネント システム用には別のベンダーから購入する必要があります。

- Microsoft Windows 2000 Server。中国語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、および日本語がサポートされます。

(Windows 2000 Advanced Server は、アメリカ英語システムに限り Cisco Unity でサポートされています。ただし、ベースライン システムおよびコンポーネント システム用に別個に購入する必要があります。Cisco Unity は、Windows 2000 Professional および Windows 2000 Datacenter Server 上での使用には適していません。)

Cisco Unity ベースライン システムおよびコンポーネント システムには、次の必須ソフトウェアが付属しています。

- Windows 2000 Service Pack 2
- NIMDA パッチ
- Windows 2000 Additional Localizations。Windows 2000 を英語以外の言語で使用する場合に必要です。
- Microsoft Exchange。Cisco Unity のコンフィギュレーションに応じて、Client Access License (CAL) の購入が必要な場合もあります。

Cisco Unity には、Exchange 2000 Server、Exchange 2000 Enterprise Server、または Exchange Server version 5.5 の Voice Mail Run-Time Edition が付属します。これらは Exchange の完全バージョンで、すべての Cisco Unity コンフィギュレーションで使用できます。

Voice Mail Run-Time Edition を使用して Cisco Unity をボイス メールのみでのコンフィギュレーションにインストールする場合 (Exchange にはボイス メールだけを入れ、ユーザは電話または Cisco Unity Visual Messaging Interface だけを使用してボイス メールにアクセスするようになります) CAL を購入する必要はありません。統合メッセージ コンフィギュレーションのいずれかに Cisco Unity をインストールする場合は、すべての Cisco Unity ユーザに CAL が必要です。ただし、Cisco Unity を既存の Exchange 導入環境に追加する場合には、必要な CAL をすでに保有しているはずで

次の Exchange エディションがサポートされています。

- Exchange 2000 Server の Voice Mail Run-Time Edition
- Exchange 2000 Server (Exchange 2000 Conferencing Server は、Cisco Unity サーバ上ではサポートされていませんが、ネットワークにインストールした場合はサポートされます)
- Exchange 2000 Enterprise Server
- Exchange Server バージョン 5.5 の Voice Mail Run-Time Edition
- Exchange Server (Standard Edition) バージョン 5.5 (Exchange 5.5 Enterprise Edition は、Cisco Unity サーバ上ではサポートされていませんが、ネットワークにインストールした場合はサポートされます)
- Exchange 2000 Service Pack 2。Exchange 2000 を Cisco Unity サーバにインストールするか、別のサーバにある Exchange 2000 に接続するかどうかは関係ありません。
- Exchange 5.5 Service Pack 4。Exchange 5.5 を Cisco Unity サーバにインストールするか、別のサーバにある Exchange 5.5 に接続するかどうかは関係ありません。
- ボイス ポートが 33 個以上あるシステムの場合は Microsoft SQL Server 2000 Standard Edition。ボイス ポートが 32 個以下のシステムの場合は Microsoft SQL Server 2000 Desktop Engine (MSDE 2000)。その他の SQL Server および MSDE のエディションはサポートされていません。

フェールオーバーが構成されているシステムでは、ボイス ポートの数に関わらず SQL Server 2000 が必要です。

- SQL Server 2000 Service Pack 1 (このサービス パックは、SQL Server 2000 を実行しているシステムと MSDE 2000 を実行しているシステムの両方に必要です)
- Microsoft Product Support Services Web サイトの Microsoft Knowledge Base 記事 Q315395 に記載されている SQL Server 2000 hot fix (この hot fix は、SQL Server 2000 を実行しているシステムと MSDE 2000 を実行しているシステムの両方に必要です)
- Microsoft Internet Explorer バージョン 5.5 (Internet Explorer 6.0 もサポートされていますが、これはベースラインシステムとコンポーネントシステムに対して個別に入手する必要があります)
- Internet Explorer 5.5 Service Pack 2 (Cisco Unity の CD セットから Internet Explorer 5.5 をインストールすると、このサービス パックが自動的にインストールされます)
- MSXML3
- MSXML3 Service Pack 1 (Cisco Unity の CD セットから MSXML3 をインストールすると、このサービス パックが自動的にインストールされます)
- Cisco Unity
- Cisco Unity を Cisco CallManager と統合する場合は、インストールしている Cisco Unity のバージョンおよび現在インストールされている Cisco CallManager のバージョンと互換性のあるバージョンの Cisco Unity-CM TSP。
http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/cmptblty/tspmtrx.htm にある「互換性マトリクス : Cisco Unity、Cisco Unity-CM TSP、Cisco CallManager」を参照してください。

次のいずれかのリモート管理アプリケーションも必要です。

- Microsoft Windows Terminal Services (Terminal Services は Windows 2000 に付属するため、Cisco Unity ベースライン システムに含まれていますが、Cisco Unity コンポーネント システム用には別のベンダーから購入する必要があります)
- Symantec pcAnywhere (pcAnywhere は Cisco Unity ベースライン システムおよびコンポーネントシステム用に別のベンダーから購入する必要があります)



(注) 付属のソフトウェアは英語版です。

ソフトウェア要件 —Cisco Unity Bridge サーバ

Cisco Unity Bridge サーバのソフトウェア要件については、

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/bridge/sysreq/index.htm にある

「Cisco Unity Bridge System Requirements, and Supported Hardware and Software」を参照してください。

ソフトウェア要件 —クライアント ワークステーション

次の必須クライアント ソフトウェアは、クライアント ワークステーション用に別のベンダーから購入する必要があります。

- インストールする Cisco Unity のバージョンと互換性のあるメール クライアント。
http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/cmptblty/clientmx.htm にある「互換性マトリクス : Cisco Unity とクライアント ワークステーション上のソフトウェア」を参照してください。互換性のあるメール クライアントは、Cisco Unity サーバを統合メッセージ コンフィギュレーションにインストールする場合、およびユーザが Cisco Unity ViewMail を使用してボイス メールにアクセスする場合に必須です。
- インストールする Cisco Unity のバージョンと互換性のあるオペレーティング システム。
http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/cmptblty/clientmx.htm にある「互換性マトリクス : Cisco Unity とクライアント ワークステーション上のソフトウェア」を参照してください。次の場合に、互換性のあるオペレーティング システムが必須です。

- Cisco Unity サーバを統合メッセージ コンフィギュレーションにインストールする場合、およびユーザが Cisco Unity ViewMail を使用してボイス メールにアクセスする場合。
- ユーザが Cisco Unity システム管理および Cisco Unity ActiveAssistant にアクセスする場合。

Cisco Unity ベースライン システムおよびコンポーネント システムには、次の必須クライアントソフトウェアが付属しています。

- Internet Explorer バージョン 5.5 : ユーザが Cisco Unity システム管理および ActiveAssistant にアクセスする場合は必須です。
- Internet Explorer 5.5 Service Pack 2(Cisco Unity の CD セットの Internet Explorer 5.5 ディスクを使用している場合は、このサービス パックが自動的にインストールされます): ユーザが Cisco Unity システム管理および ActiveAssistant にアクセスする場合は必須です。

Internet Explorer 6.0 もサポートされていますが、別のベンダーから購入する必要があります。

Cisco Unity コンフィギュレーションに関する Windows 2000、Exchange、およびネットワークの要件

ボイス メールのみ

Plain Old Voice Mail (POV) とも呼ばれる従来の独立型システム。システムにはネットワーク接続があってもなくても構いません。

Windows 2000 ドメイン要件	Cisco Unity サーバは、サーバ自身のドメインにおけるドメイン コントローラおよびグローバル カタログ サーバです。
Exchange 要件	Exchange は、Cisco Unity サーバまたは別個のサーバのいずれにインストールしても構いません。どちらの場合も、Exchange は Exchange 自身の組織およびサイトにインストールする必要があります。
ネットワーク要件	ネットワーク接続では、最小のネットワーク アクセスで最低 10 Mbps 以上。 フェールオーバーが構成されている場合は、Cisco Unity サーバ間で 100 Mbps の接続を推奨します。

統合メッセージ (単一の Exchange サーバ)

Cisco Unity では、統合メッセージ システムを提供します。Cisco Unity サーバは、サイトに存在する唯一の Exchange サーバです。

Windows 2000 ドメイン要件	Cisco Unity サーバは、自身のドメインのドメイン コントローラまたはドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバになります。あるいは、このサーバは、既存ドメインのメンバー サーバ、ドメイン コントローラ、またはドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバになります。
Exchange 要件	Exchange は、Exchange 自身の組織およびサイトの Cisco Unity サーバにインストールされます。
ネットワーク要件	最低 100 Mbps の接続を推奨します。

統合メッセージ（既存の Exchange サイト）

Cisco Unity では、組織およびサイトにある別の Exchange サーバに置かれた Exchange メールボックスを使用する統合メッセージシステムを提供します。

Windows 2000 ドメイン要件 Cisco Unity サーバは、通常、既存ドメインのメンバー サーバになります。

Exchange 要件 Cisco Unity サーバでは、既存の Exchange 組織で Exchange メールボックスを提供します。Cisco Unity サーバでは、Exchange 2000 経路指定グループまたは Exchange 5.5 サイトを 1 つだけ提供します。Exchange は Cisco Unity サーバにインストールできますが、必須ではありません。

ネットワーク要件 最低 100 Mbps の接続を推奨します。
フェールオーバーが構成されている場合は、Cisco Unity サーバ間で 100 Mbps の接続を推奨します。

Cisco Unity コンフィギュレーションの特徴については、[P.11 の「Cisco Unity のコンフィギュレーション」](#)を参照してください。

Exchange クラスタリングの使用要件

Exchange クラスタでユーザにサービスを提供する場合、Cisco Unity には次の要件があります。

- 必ず Exchange 2000 クラスタリングを使用する(Exchange 5.5 クラスタリングはサポートされていません)。
- Exchange クラスタのサーバに Cisco Unity をインストールしない。
- アクティブおよびパッシブクラスタリングには、2 ノード クラスタだけを使用する。
- Exchange クラスタのサーバに Cisco Unity ボイス コネクタをインストールしない。

Exchange 2000 と Exchange 5.5 の同時使用要件

Cisco Unity ユーザが Exchange 2000 と Exchange 5.5 の両方をホームとしている場合は、Cisco Unity をインストールする前に、Exchange 2000 および Exchange 5.5 を混合モード メッセージ用に設定します。

- Exchange 2000 サーバは必ず既存の Exchange 5.5 サイトのいずれかにインストールする。
- Active Directory コネクタは必ず Active Directory と Exchange 5.5 ディレクトリの間を設定する。

Cisco Unity フェールオーバー要件

- Cisco Unity 用にサーバを 2 つ用意する必要がある。
- 両方の Cisco Unity サーバを同じドメインのメンバーサーバにする必要がある（ドメインコントローラにはできません）。どちらの Cisco Unity サーバにも Active Directory をインストールしないでください。
- Exchange 2000 の場合は、両方の Cisco Unity サーバを必ず同じ経路指定グループ内に置く。Exchange 5.5 の場合は、両方のサーバを必ず同じ Exchange サイトに置く。
- Cisco Unity サーバにインストールされている Exchange ソフトウェアだけが、管理ソフトウェアである。その他すべての Exchange サービス（ユーザのメールボックスを含む）は Cisco Unity サーバ以外のコンピュータに置きます。メッセージを Cisco Unity サーバに保管してはいけません（このように分けることにより、第一次サーバまたは第二次サーバのいずれかが機能しなくなった場合でもメッセージの利用が可能になります）。
- SQL Server 2000 は必ず両方の Cisco Unity サーバにインストールする。
- 一方の Cisco Unity サーバが第一次サーバ、もう一方の Cisco Unity サーバが第二次サーバとなる。
- Cisco Unity 3.1(2) および 3.1(3) の場合に限り、両方のサーバのシステムクロックで、Failover Monitor の [ファイルの複製間隔] フィールドの値より大きい時間のずれがあってはならない（システムクロックでの時間のずれがこの設定値より大きくなると、最近の録音名、グリーティング、およびメッセージが正しく複製されない場合があります）。Windows 2000 を使用するサーバの場合は、**net time** コマンドを使用して、Windows のタイムサーバをシステムクロックと同期するように設定することを推奨します。Microsoft Support Web サイトにある記事 ID Q216734 「How to Configure an Authoritative Time Server in Windows 2000」を参照してください。
- 両方の Cisco Unity サーバに同じ使用可能な機能とコンフィギュレーションがなければならない。
- パフォーマンスを同等にするため、両方の Cisco Unity サーバに同じ数のポートを設置する。
- システムキーは、一方に第一次サーバのライセンス、もう一方に第二次サーバのライセンスを持たせるほかは、どちらも同じにする。第二次サーバのライセンスを使用しているときに Cisco Unity を第一次サーバとして実行したり、第一次サーバのライセンスを使用しているときに Cisco Unity を第二次サーバとして実行することはできません。
- 両方の Cisco Unity サーバをネットワークに接続し、最低 100 Mbps の信頼できる接続を実現する必要があります。ネットワーク接続なしでフェールオーバーをインストールすることはできません。
- フェールオーバーは、ネットワーク接続のないものを除き、サポートされているあらゆる Cisco Unity コンフィギュレーションで使用できる。
- 両方の Cisco Unity サーバにスタティック IP アドレスまたは予約 IP アドレス (DHCP 予約など) が必要である。制御されていない方法で IP アドレスを変更してはいけません。DHCP が長いリース期間で構成されている場合は、DHCP に IP アドレスを割り当てさせることができます。DHCP が短いリース期間で構成されている場合は、スタティック IP アドレスを割り当てるか、DHCP 予約を使用します。
- 両方の Cisco Unity サーバ上の MSSQLSERVER サービスと SQLSERVERAGENT サービスが同じドメイン アカウントを使用するように構成する必要があります。これらをローカルシステムとして動作するように構成することはできません。第一次サーバ上の SQLSERVERAGENT は、Windows NT の認証を使用して第二次サーバ上の SQL Server にログオンできる必要があります。

Cisco Unity バージョン 2.x から 3.1 へのアップグレード要件

- Cisco Unity 3.1 システムのすべての要件。



注意

Cisco Unity バージョン 3.1 の要件は、バージョン 2.x の要件と異なります。Cisco TAC のサポートを受けるためには、システムが Cisco Unity 3.1 の基準を満たしている必要があります。

- Cisco Unity システム バージョン 2.3(4.104) またはそれ以降。以前のバージョンからのアップグレードはサポートされていません（使用しているシステムが以前のバージョンの場合には、すべてのソフトウェアを再インストールする必要があります。さらに、システムのバージョンが 2.2 またはそれ以前の場合、新しいシステム キーが必要です）。
- ActiveFax を削除する。ActiveFax は、Cisco Unity サーバ上でも別個のサーバ上でもサポートされていません。
- ネットワーク接続または大容量リムーバブル ストレージ デバイス。これを使用すると、既存の Cisco Unity 2.x システムからエクスポートしたユーザおよびその他の情報を保存して、3.1 システムにインポートできます。

セキュリティ上の推奨事項

Cisco Unity は、IIS (Microsoft Internet Information Server) およびその他の Windows コンポーネントを使用するため、Microsoft Web サーバやアプリケーション サーバの場合と同じセキュリティ上の攻撃を受けやすくなります。

ファイアウォールを使用して Cisco Unity サーバを保護するには、Microsoft の推奨事項およびガイドラインを参照してください。

また、Cisco.com (http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/whitapr/security.htm) から入手できる『White Paper: Security Best Practices for Cisco Unity 3.0』も参照してください。

次のセキュリティに関する特定の問題に注意してください。

- Cisco Unity サーバは、Microsoft TechNet Web サイトにある Microsoft Security Bulletin MS02-045 に記載されているタイプの攻撃に弱い。Microsoft Web サイトから Security Update Q326830 をダウンロードしてインストールすることを強く推奨します。
- Nimda ウィルスからのリカバリについては、Cisco.com (http://www.cisco.com/warp/public/788/AVVID/nimda_fix_unity.html) から入手できる『Cisco Unity: Interim Process for Preventing and Recovering from the Nimda Virus』を参照してください。

Cisco Unity のコンフィギュレーション

Cisco Unity システムのインストールには、3 種類のコンフィギュレーションがあります。次に、コンフィギュレーションの特徴を種類ごとに説明します。

ボイス メールのみ

- Cisco Unity サーバはボイス メールのみを処理する。
- Cisco Unity サーバがネットワークに接続されている場合、次のことができます。
 - Cisco Unity は Cisco CallManager と統合できる。
 - Cisco Unity の管理はネットワーク上で行うことができる。
 - ユーザは、Cisco Unity ActiveAssistant にアクセスできる。
 - Exchange は、Cisco Unity サーバまたは別個のサーバのいずれにインストールしてもよい。
 - サーバはウイルス チェックやバックアップなどのネットワーク ユーティリティにアクセスできる。
- ユーザは電話でメッセージを確認する。
- ユーザ アカウントの電子メール属性がある場合は、ボイス メール属性とは別個に管理する必要があります。

統合メッセージ (単一の Exchange サーバ)

- Cisco Unity サーバはボイス メールおよび電子メール メッセージを処理する。
- Cisco Unity サーバはネットワークに接続されるため、Active Directory、およびウイルス チェックやバックアップなどのネットワーク ユーティリティにアクセスできる。
- ユーザは、電話または電子メール クライアントを使用してメッセージを確認できる。
- Cisco Unity の管理はネットワーク上で行うことができる。
- ユーザは、Cisco Unity ActiveAssistant にアクセスできる。
- ユーザ アカウントのボイス メール属性および電子メール属性は、Cisco Unity システム管理を使用することにより、単一のロケーションから管理できる。

統合メッセージ (既存の Exchange サイト)

- Cisco Unity サーバはボイス メールのみを処理する。メッセージは他の Exchange サーバに保管されます。
- Cisco Unity サーバはネットワークに接続されるため、Active Directory、およびウイルス チェックやバックアップなどのネットワーク ユーティリティにアクセスできる。
- ユーザは、電話または電子メール クライアントを使用してメッセージを確認できる。
- Cisco Unity の管理はネットワーク上で行うことができる。
- ユーザは、Cisco Unity ActiveAssistant にアクセスできる。
- ユーザ アカウントのボイス メール属性および電子メール属性は、Cisco Unity システム管理を使用することにより、単一のロケーションから管理できる。

パート 2 : Cisco Unity 3.1 でサポートされるハードウェアとソフトウェア

- 互換性に関する情報 (P.12)
- サポートされているボイス カード (P.13)
- サポートされている電話システム統合 (P.14)
- サポートされている AMIS 準拠ボイス メール システム (P.16)
- AMIS でサポートされている Cisco ゲートウェイ (P.16)
- Cisco Unity Bridge でサポートされているボイス メール システム (P.17)
- Cisco Unity Bridge でサポートされている Cisco ゲートウェイ (P.17)
- サポートされているサードパーティ製ハードウェア (オプション)(P.17)
- サポートされていないコンフィギュレーション (P.17)
- サポートされているファックス サーバソフトウェア (P.18)
- サポートされている Microsoft サービスパック (オプション)(P.19)
- サポートされているサードパーティ製ソフトウェア (オプション)(P.20)
- サポートされているウィルス検出ソフトウェア (P.21)
- サポートされていないサードパーティ製ソフトウェア (P.21)
- パート 1: Cisco Unity 3.1 システム要件 (P.1)

互換性に関する情報

互換性に関する情報については、Cisco.com にある次のドキュメントを参照してください。

- http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/cmptblty/clientmx.htm にある『互換性マトリクス : Cisco Unity とクライアントワークステーション上のソフトウェア』
- http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/cmptblty/tspmtrx.htm にある『互換性マトリクス : Cisco Unity、Cisco Unity-CM TSP、Cisco CallManager』

サポートされているボイスカード

サポートされているボイスカード —Cisco Unity サーバ

表 1 に、Cisco Unity サーバでサポートされているボイスカードを示します。

ISA ボイスカードは、新規の Cisco Unity 3.1 システムでも Cisco Unity 3.1 へのアップグレードでもサポートされていません。

2 枚以上のカードがインストールされている場合、カードは H.100 ケーブルを使用して接続する必要があります。

すべてのカードがすべての国で使用できるわけではありません。所定のカードが自分の国で使用できるかどうかについては、シスコシステムズまでお問い合わせください。

表 1 Cisco Unity サーバでサポートされているボイスカード

カード	互換性のある製品	接続
Intel ダイアロジック D/41E PCI (4 ポートのアナログカード)	D/120JCT-LS	4 RJ-11
Intel ダイアロジック D/120JCT-LS (12 ポートのアナログカード)	D/41EPCI	6 RJ-25
Intel ダイアロジック D/120JCT-EURO (12 ポートのアナログカード)	なし	6 RJ-25
Intel ダイアロジック D/240PCI-T1 (24 ポートの T1 カード)	なし	RJ-45



(注) 日本ではサポートの対象外です。

サポートされているボイス ファックスカード —Cisco Unity Bridge サーバ

Cisco Unity Bridge でサポートされているボイス ファックスカードについては、http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/bridge/sysreq/index.htm にある「Cisco Unity Bridge System Requirements, and Supported Hardware and Software」を参照してください。

サポートされている電話システム統合

Cisco Unity では、使用に適した IP 電話システム（次の項「[サポートされている IP 電話システム統合](#)」を参照）および使用に適した回線交換電話システム（P.14 の「[サポートされている回線交換電話システム統合](#)」を参照）を統合します。また、Cisco Unity では二重電話システム統合（1 つの IP 電話システムと 1 つの回線交換電話システム）をサポートします。



(注) 日本ではサポートの対象外です。

サポートされている IP 電話システム統合

- Cisco CallManager 3.2
- Cisco CallManager 3.1
- Cisco CallManager 3.0

サポートされている回線交換電話システム統合

表 2 サポートされている回線交換電話システム統合

電話システム	統合タイプ	ボイスカード	必須コンポーネント
Avaya Definity G3	DTMF	D/41E PCI および D/120JCT-LS、または D/120JCT-EURO	<ul style="list-style-type: none"> • アナログケーブル
Avaya Definity Gx	シリアル	D/41E PCI および D/120JCT-LS、または D/120JCT-EURO	<ul style="list-style-type: none"> • 接続されたシステムの PBXLink ボックス • RS-232 シリアルケーブル • デジタルケーブル • アナログケーブル
Centrex (Avaya 1AESS、 Avaya 5ESS、および Nortel DMS100)	シリアル (SMDI)	D/41E PCI および D/120JCT-LS、または D/120JCT-EURO	<ul style="list-style-type: none"> • RS-232 シリアルケーブル • 外付け統合モデム • アナログケーブル • フェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ ス ブリット
Ericsson MD-110	シリアル (SMDI)	D/41E PCI および D/120JCT-LS、または D/120JCT-EURO	<ul style="list-style-type: none"> • RS-232 シリアルケーブル • アナログケーブル • フェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ ス ブリット
Intecom E14 Millennium	シリアル	D/240PCI-T1	<ul style="list-style-type: none"> • RS-232 シリアルケーブル • T1 ケーブル

表 2 サポートされている回線交換電話システム統合（続き）

電話システム	統合タイプ	ボイスカード	必須コンポーネント
Mitel SX-200	DTMF (ONS)	D/41E PCI および D/120JCT-LS、または D/120JCT-EURO	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
Mitel SX-2000	DTMF (ONS)	D/41E PCI および D/120JCT-LS、または D/120JCT-EURO	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
NEC NEAX 2000 MCI	シリアル (MCI)	D/41E PCI および D/120JCT-LS、または D/120JCT-EURO	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ケーブル アナログ ケーブル フェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ スプリッタ
NEC NEAX 2400 MCI	シリアル (MCI)	D/41E PCI および D/120JCT-LS、または D/240PCI-T1、または D/120JCT-EURO	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ケーブル アナログ ケーブルまたは T1 ケーブル アナログ ボイス接続によるフェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ スプリッタ
Nortel Meridian 1	シリアル	D/41E PCI および D/120JCT-LS、または D/120JCT-EURO	<ul style="list-style-type: none"> 接続されたシステムの PBXLink ボックス RS-232 シリアル ケーブル デジタル ケーブル アナログ ケーブル
Siemens 9751 9006i	DTMF	D/41E PCI および D/120JCT-LS、または D/120JCT-EURO	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
Siemens Hicom 3000	DTMF	D/41E PCI および D/120JCT-LS、または D/120JCT-EURO	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル

サポートされている AMIS 準拠ボイス メール システム

AMIS アナログ プロトコルは Cisco Unity 3.1(2) およびそれ以降のバージョンでサポートされています。AMIS アナログ プロトコルによって、Cisco Unity は AMIS に準拠した他のボイス メール システムとの間でボイスメールの交換が可能になります。

Cisco Unity 3.1(2) 以降では次のシステムがサポートされています。

- Active Voice Repartee
- Avaya Octel 100 Messaging
- Avaya Octel 250/350
- Centigram Voice Mail
- Siemens PhoneMail

Cisco Unity 3.1(3) 以降では次のシステムがサポートされています。

- Avaya Intuity Interchange with AMIS-analog Networking Gateway

Cisco Unity での AMIS の使用の詳細については、Cisco.com

(http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/unity31/net/index.htm) から入手できる『Cisco Unity のネットワーク機能』を参照してください。

AMIS でサポートされている Cisco ゲートウェイ

AMIS は DTMF (Dual Tone Multi Frequency) ベースのアナログ プロトコルです。AMIS メッセージを他のボイス メール システムに送信するため、可能であれば PBX (Private Branch Exchange) からの標準アナログ回線、または中央局からの FX アナログ回線を使用することを推奨します。

Cisco CallManager および 1 台の PBX との二重電話システム統合では、Cisco CallManager を通過しない PSTN (Public Switched Telephone Network) トランクが PBX にある場合、PBX を使用する Cisco Unity サーバのポートで発信 AMIS コールを使用可能にしておく必要があります。Cisco CallManager を使用する Cisco Unity ポートで AMIS を使用可能にしないでください。

純粋な Cisco CallManager 環境の場合、Cisco CallManager では IP 接続だけをサポートするため、WS-X6624 (Cisco Catalyst 65XX) ゲートウェイか、Cisco IOS ゲートウェイの 26XX または 36XX ファミリーからのゲートウェイを使用する必要があります。Cisco IOS ゲートウェイは h.323 モードの 12.2(8) コードまたはそれ以降にする必要があります。さらに、Cisco CallManager で H225DTMFDuration サービス パラメータを 300 から 80 に設定する必要があります。

その他のゲートウェイはテスト中であり、現時点ではサポートされていません。

Cisco Unity Bridge でサポートされているボイス メール システム

Cisco Unity Bridge でサポートされているボイス メール システムについては、
http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/bridge/sysreq/index.htm にある
 「Cisco Unity Bridge System Requirements, and Supported Hardware and Software」を参照してください。

Cisco Unity Bridge でサポートされている Cisco ゲートウェイ

Cisco Unity Bridge でサポートされている Cisco ゲートウェイについては、
http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/bridge/sysreq/index.htm にある
 「Cisco Unity Bridge System Requirements, and Supported Hardware and Software」を参照してください。

サポートされているサードパーティ製ハードウェア (オプション)

次のアウトバンド管理カードが Cisco Unity 3.1 でサポートされています。

- Dell Remote Assistant Card バージョン 2.0 およびそれ以降
- Hewlett-Packard Remote Insight Lights-Out Edition のすべてのバージョン
- IBM Remote Supervisor Adapter のすべてのバージョン

また、Cisco Unity サーバをリモートで再起動するため、管理カードとの使用がサポートされているソフトウェアについては、P.20 の「サポートされているサードパーティ製ソフトウェア (オプション)」を参照してください。

サポートされていないコンフィギュレーション

次のコンフィギュレーションは、Cisco Unity 3.1 でサポートされていません。

- メール サーバとしての Lotus Notes。Cisco Unity では、サイト内の Exchange サーバに対して Lotus Notes コネクタが存在する場合に Lotus Notes ユーザをサポートできます。
- このドキュメントまたは相互参照ドキュメントにおいて、必要に応じて記載されているまたはサポートされている以外のアプリケーションまたはサービスを Cisco Unity サーバ上で実行すること。

特に、Cisco Unity サーバ上でのサードパーティ製ファックス サーバの実行は、サポートされていません(以前のバージョンの Cisco Unity で使用可能なファックス サーバである ActiveFax は、Cisco Unity サーバ上でも別個のファックス サーバ上でもサポートされていません)。

- Windows 2000 DataCenter Server 上での Cisco Unity の実行。
- Exchange 2000 Conferencing Server は、Cisco Unity サーバにインストールした場合はサポートされないが、ネットワークにインストールした場合はサポートされる。
- Cisco Unity サーバにおけるソフトウェア ベースの RAID。

次のコンフィギュレーションはサポートされていますが、推奨しません。

- Cisco Unity は、ネイティブ モードで稼働している Windows 2000 Server ドメインで実行できる。ただし、このコンフィギュレーションでは、ボイス コネクタがドメイン コントローラにインストールされません。また、ユーザ数の多いポートでパフォーマンスが低下する場合があります。

サポートされているファックス サーバソフトウェア

Exchange ゲートウェイとともにインストールされた次のファックス サーバだけが Cisco Unity でサポートされます。

- Biscom FAXCOM for Microsoft Exchange バージョン 6.19 またはそれ以降
- Captaris RightFax バージョン 6 またはそれ以降
- Esker Faxgate バージョン 7 またはそれ以降
- Fenestrae Faxination バージョン 4 またはそれ以降
- Interstar Technologies LightningFax バージョン 5.5 またはそれ以降
- Omtool Fax Sr. バージョン 3 またはそれ以降
- Optus FACSys バージョン 4.5 またはそれ以降
- TOPCALL のすべてのバージョン

ファックス サーバに、ファックス カード、ファックス サーバソフトウェア、専用ファックス回線をインストールします。Cisco Unity サーバへのファックス ソフトウェアのインストールはサポートされていません。サポートされているカードのリストと統合方法については、ファックス サーバのドキュメントを参照してください。

サポートされている Microsoft サービス パック (オプション)



(注)

Cisco Unity サーバにインストールする (あるいはインストール済みの) サードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェア (オプション) について、メーカー側でもその製品でサービス パックをサポートしているかどうかを確認してから、使用に適したサービス パック (オプション) を Cisco Unity サーバにインストールしてください。

次の Microsoft サービス パックが、Cisco Unity との使用 (オプション) に適しています。

- Exchange 2000 Service Pack 3
- SQL Server 2000 Service Pack 2
- Windows 2000 Service Pack 3 (Service Pack 3 ではデフォルトでインストールされて使用可能になる Windows 2000 Updater プログラムを無効にすることを推奨します)

Microsoft アップデートとサービス パックについてのサポート ポリシー

Microsoft では、Windows 2000、Exchange、SQL Server 2000/MSDE 2000、Internet Explorer、および IIS のアップデートを頻繁に提供しています。こうしたアップデート (セキュリティ ロールアップ パッチ、セキュリティ アップデート、重要なアップデート、パッチ、hot fix など、さまざまな名前で呼ばれる) は、特定の問題を修正する変更に限定されています。したがって、一般的な不良箇所の修正や新機能は含まれません。Cisco TAC では、これらのアップデートをインストールした Cisco Unity システムのサポートを提供しています。

また、Microsoft では一般の製品リリース以降に発生した修正を集めたサービス パックをリリースすることがあります。サービス パックには、アップデートとしてリリースされたほとんどの修正が含まれます。サービス パックの適用範囲は幅広いため、変更によって Cisco Unity に悪影響を及ぼすことがないように、各サービス パックは徹底的にテストする必要があります。Cisco TAC では、新しいサービス パックが Cisco Unity での使用に適するまで、そのサービス パックをサポートしません。

使用に適さないサービス パックをインストールしないでください。インストールした場合、Cisco TAC ではそのサービス パックがアンインストールされるまで問題解決をサポートしません。

シスコでは、該当する Microsoft サービス パックがリリースされてから 60 日以内に、Cisco Unity または Cisco Unity Bridge のリリース済みのバージョンにそのサービス パックが適用可能かどうか、またそのサービス パックの適用がオプションか必須かを発表します。

サポートされているサードパーティ製ソフトウェア (オプション)

次のサードパーティ製ソフトウェア (オプション) が Cisco Unity での使用に適しています。

- Adobe Acrobat Reader バージョン 4.0 またはそれ以降。
- American Power Conversion (APC) PowerChute Plus for Windows 2000 and Windows NT バージョン 5.2.1 またはそれ以降。
- Cisco IDS Host Sensor Agent バージョン 9/26/2001 またはそれ以降
- Dell OpenManage。Cisco Unity サーバをリモートで再起動するため、Dell Remote Assistant Card とともに使用する場合にサポートされます。
- Hewlett-Packard Insight Manager。Cisco Unity サーバをリモートで再起動するため、Hewlett-Packard Remote Insight Lights-Out Edition カードとともに使用する場合にサポートされません。
- IBM Director。Cisco Unity サーバをリモートで再起動するため、IBM Remote Supervisor Adapter とともに使用する場合にサポートされます。
- NetIQ VoIP Manager version 2.0 for Cisco Unity。Cisco Unity サーバにはエージェントだけをインストールします。
- RSA SecurID ACE/Agent for Microsoft Windows 2000 バージョン 1.1
 テキスト / スピーチを使用して電話で電子メールにアクセスするユーザ、またはボイス メール アクセスにより高い安全性を求めるユーザに対して、RSA では電話パスワードよりも高いレベルのセキュリティを提供します。ACE/Server ソフトウェアと Cisco Unity ソフトウェアは、同一サーバ上にインストールできません。Cisco Unity で RSA SecurID システムとの連携を設定する詳細については、Cisco.com (http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/unity31/sag/index.htm) から入手できる『Cisco Unity システム アドミニストレーション ガイド』の「拡張電話セキュリティ」の章を参照してください。
- VERITAS Backup Exec for Microsoft Windows NT and Windows 2000 バージョン 8.5 およびそれ以降
- WinZip バージョン 7.0 またはそれ以降

サードパーティ製ソフトウェア (オプション) についてのサポート ポリシー

シスコのサポート ポリシーは、お客様がバックアップ、モニタリング、およびセキュリティのために Cisco Unity サーバでサードパーティ製ソフトウェアを展開できることにあります。ただし、シスコでは、お客様 (またはお客様のシステム統合パートナー) がこうした製品と Cisco Unity との相互運用性をテストした上で製品を展開することにより、Cisco Unity と Cisco Unity サーバにロードされたサードパーティ製品間の問題が実稼働環境で発見されるリスクを緩和することを期待しています。

問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアはトラブルシューティングの間、そのようなサードパーティ製ソフトウェアの停止、あるいは Cisco Unity サーバからの削除を求める場合があります。サードパーティ製ソフトウェアと Cisco Unity との相互運用性が問題の根本原因であることが判明した場合は、お客様が Cisco Unity システムを続けて使用するために、相互運用性の問題が解決するまでは、サードパーティ製ソフトウェアは無効にするか Cisco Unity サーバから削除する必要があります。

Cisco Unity サーバにインストールする (あるいはインストール済みの) サードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェア (オプション) について、メーカー側でもその製品でサービス パックをサポートしているかどうかを確認してから、使用に適した Microsoft サービス パック (オプション) を Cisco Unity サーバにインストールしてください。

サポートされているウイルス検出ソフトウェア

次のウイルス検出ソフトウェアが Cisco Unity での使用に適しています。

- Computer Associates InoculateIT for Microsoft Windows NT and Windows 2000 バージョン 4.53 ビルド 627 およびそれ以降
- McAfee
 - NetShield for Microsoft Windows NT and Windows 2000 バージョン 4.5 およびそれ以降
 - VirusScan Enterprise バージョン 7.1 およびそれ以降
- Symantec Norton AntiVirus for Microsoft Exchange バージョン 2.13 およびそれ以降
- Symantec Norton AntiVirus for Microsoft Windows NT and Windows 2000 バージョン 5.02 およびそれ以降
- Trend Micro :
 - ScanMail for Microsoft Exchange 2000 バージョン 5 およびそれ以降
 - ScanMail for Microsoft Exchange 5.5 バージョン 3.x およびそれ以降

ウイルス検出ソフトウェアについてのサポート ポリシー

シスコのサポート ポリシーは、お客様が Cisco Unity サーバでサードパーティ製ウイルス検出ソフトウェアを展開できることにあります。ただし、シスコでは、お客様（またはお客様のシステム統合パートナー）がこうした製品と Cisco Unity との相互運用性をテストした上で製品を展開することにより、Cisco Unity と Cisco Unity サーバにロードされたサードパーティ製品間の問題が実稼働環境で発見されるリスクを緩和することを期待しています。

問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアはトラブルシューティングの間、そのようなサードパーティ製ソフトウェアの停止、あるいは Cisco Unity サーバからの削除を求める場合があります。サードパーティ製ソフトウェアと Cisco Unity との相互運用性が問題の根本原因であることが判明した場合は、お客様が Cisco Unity システムを続けて使用するために、相互運用性の問題が解決するまでは、サードパーティ製ソフトウェアは無効にするか Cisco Unity サーバから削除する必要があります。

Cisco Unity サーバにインストールする（あるいはインストール済みの）サードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェア（オプション）について、メーカー側でもその製品でサービスパックをサポートしているかどうかを確認してから、使用に適した Microsoft サービスパック（オプション）を Cisco Unity サーバにインストールしてください。

サポートされていないサードパーティ製ソフトウェア

Cisco Unity での使用に適さないサードパーティ製ソフトウェアは、Cisco Unity サーバでサポートされません。トラブルシューティングの際は、Cisco TAC によって、削除を要求されます。

- Cisco Unity サーバ上のファックスソフトウェアは、サポートされていません。

AccessPath、AtmDirector、Browse with Me、CCIP、CCSI、CD-PAC、CiscoLink、Cisco Powered Network のロゴ、Cisco Systems Networking Academy、Cisco Systems Networking Academy のロゴ、Cisco Unity、Fast Step、Follow Me Browsing、FormShare、FrameShare、IGX、Internet Quotient、IP/VC、iQ Breakthrough、iQ Expertise、iQ FastTrack、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、MGX、Networkers のロゴ、ScriptBuilder、ScriptShare、SMARTnet、TransPath、Voice LAN、Wavelength Router、および WebViewer は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および Discover All That's Possible は Cisco Systems, Inc. のサービス マークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco IOS のロゴ、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherSwitch、FastHub、FastSwitch、GigaStack、IOS、IP/TV、LightStream、MICA、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、RateMUX、Registrar、SlideCast、StrataView Plus、Stratm、SwitchProbe、TeleRouter、および VCO は米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルおよび Web サイトで言及されたその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という用語は、シスコと他社が合資関係にあることを示すものではありません。(0110R)

Copyright © 2002, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下の URL で最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト
http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下の URL からお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター
<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501